

経営比較分析表（令和元年度決算）

岡山県 鏡野町

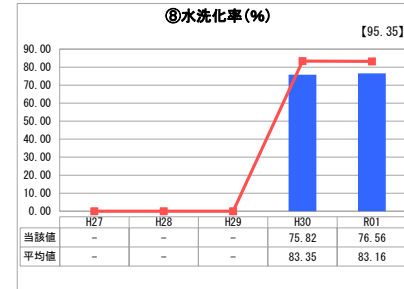
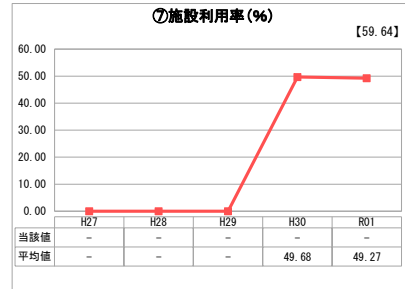
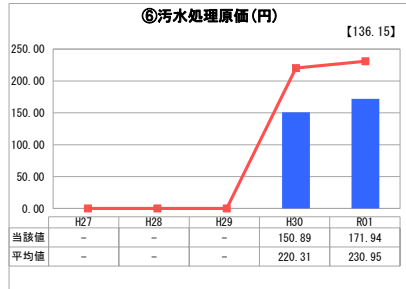
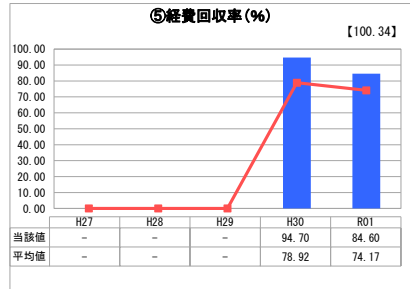
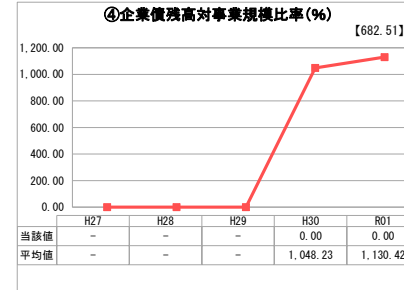
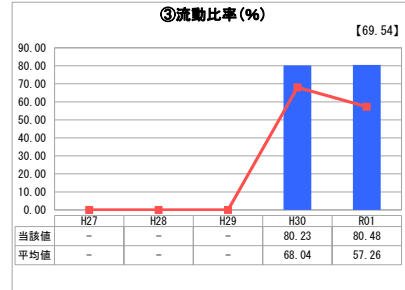
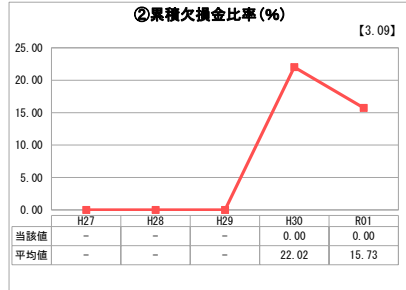
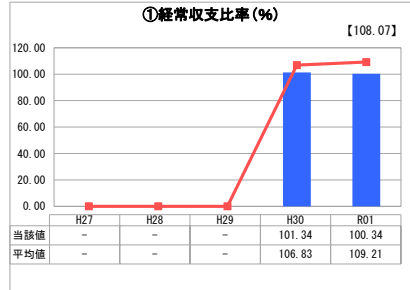
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	50.92	58.62	100.00	3,300

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
12,859	419.68	30.64
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
7,520	3.88	1,938.14

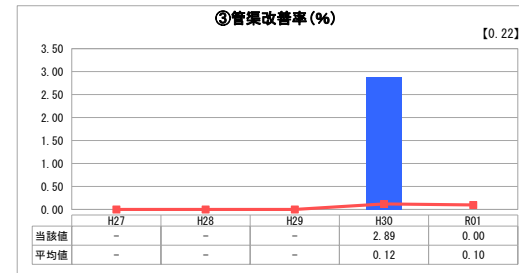
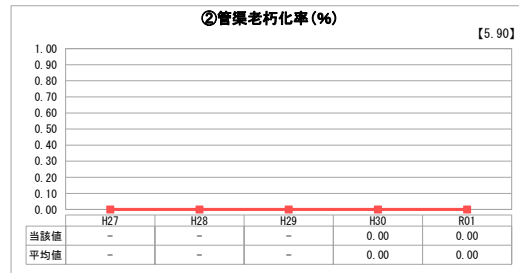
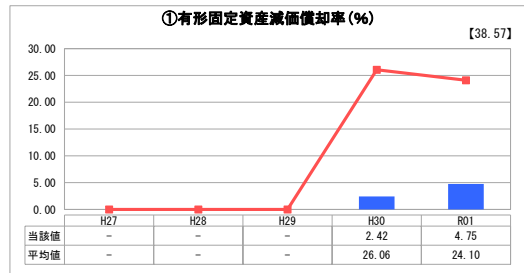
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

公共下水道事業の概況
 ①経常収支比率
 おおむね100%で推移している。なお、総収益のうち他会計からの補助金が22.8%占めている。
 ③流動比率
 100%に満たないものの前年度並みで推移している。
 ⑤経費回収率
 使用料収入は増加しているが、支障移転や耐震調査に係る臨時的な費用が発生し減少した。
 ⑥汚水処理原価
 使用料収入は増加しているが、臨時的な費用が発生し増加した。
 ⑧水洗化率
 既整備地区の水洗化人口は増加しているが、面整備による新たな整備済地区も増加しているため、わずかな上昇にとどまっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 類似団体と比較して大きく低い理由は整備年が遅いことと、処理場がないため、耐用年数が短い電気機械設備が少なかったためである。
 ③管渠改善率
 整備年が遅く、面整備途中でもあり、更新することがないため。

全体総括

当町の下水道4事業のうち、公共下水道事業は住宅密集地区であるため、経営は比較的良好である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

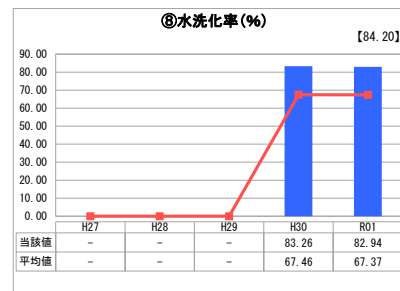
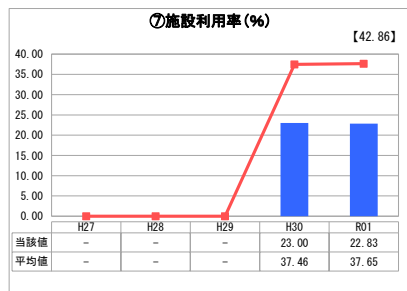
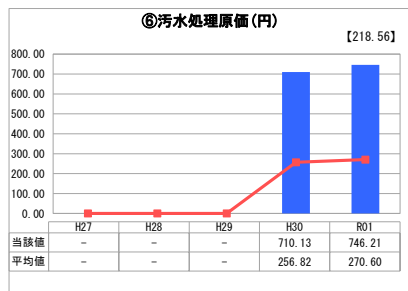
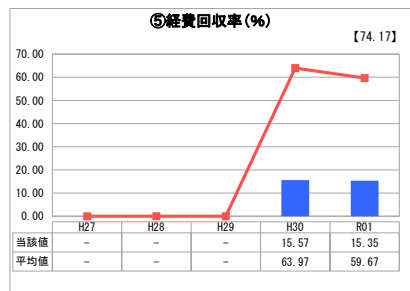
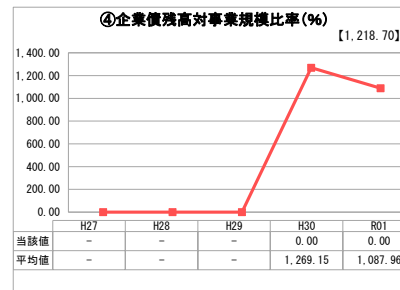
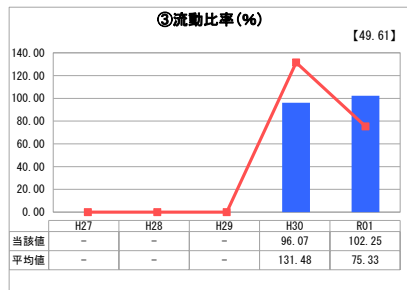
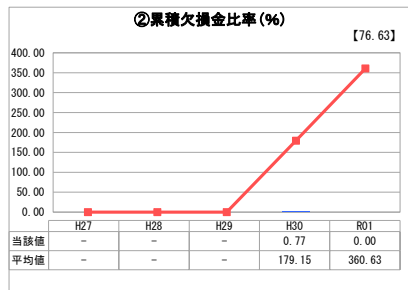
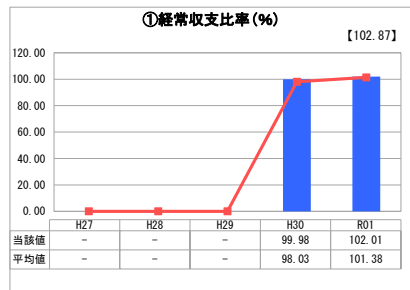
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	65.83	1.64	100.00	3,300

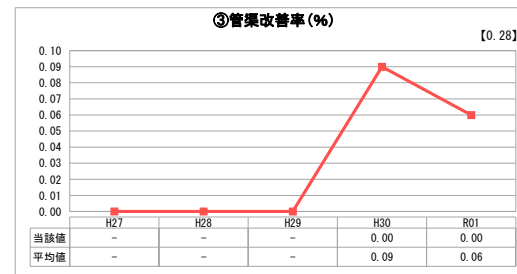
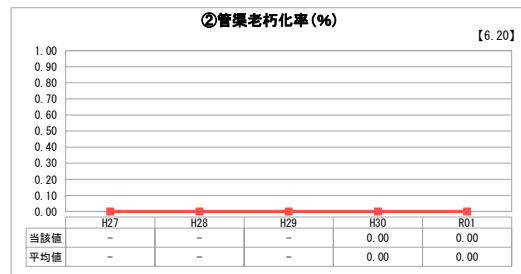
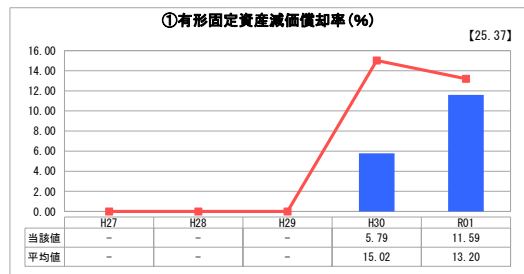
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,859	419.68	30.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
211	0.16	1,318.75

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道事業の概況
 ①経常収支比率
 おおむね100%で推移している。なお、総収益のうち他会計からの補助金が46.6%占めている。
 ③流動比率
 おおむね100%で推移している。
 ⑤経費回収率
 100%を大きく下回り、類似他団体よりも大きく差がある。人口減少による使用料収入の減少もある中で、今後は処理区の統合等で経営の健全化を図っていく。
 ⑥汚水処理原価
 類似団体より著しく高額になっている。今後の処理区の統合等で経営の健全化を図っていく。
 ⑦施設利用率
 建設当時の見込みより処理場能力が過剰であるため、低率となっているが、隣接処理区との統合により利用率を向上させる。
 ⑧水洗化率
 類似団体より高い状況であるが、今後も地区内の水洗化に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 類似団体と比較して低くなっているが、上昇傾向にあるため、10年経過を目的に更新計画を検討する必要がある。
 ③管渠改善率
 整備年が遅く、更新することがないため実績がない。

全体総括

当町の下水道4事業のうち、特定環境保全公共下水道は区域内人口が少なく、経費回収が厳しい状況である。隣接処理区の統合を進め、維持管理に係るコスト低減に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

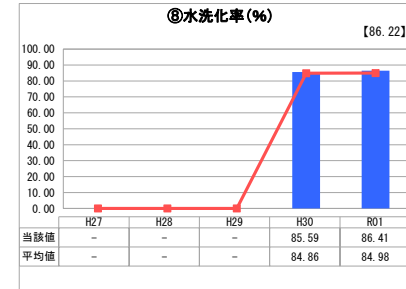
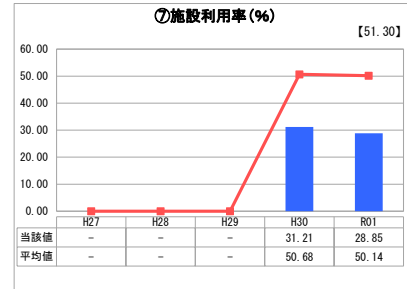
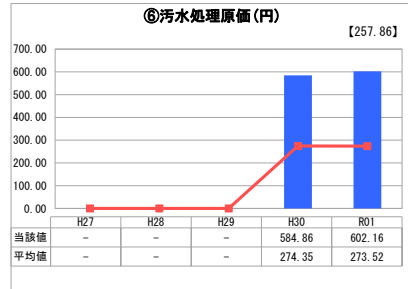
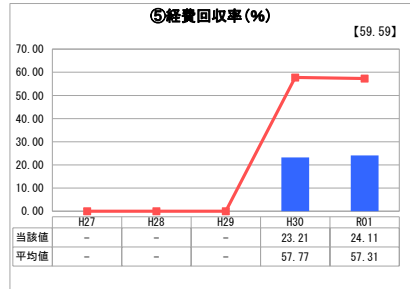
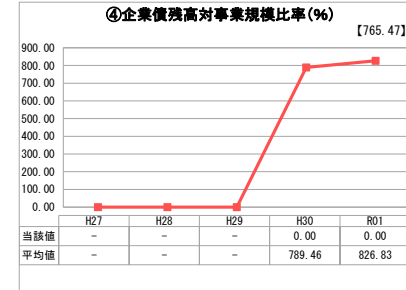
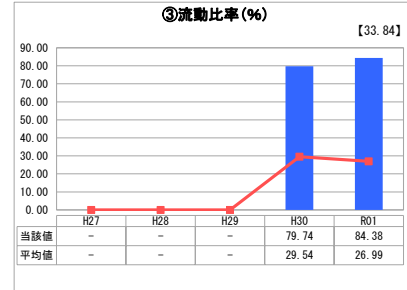
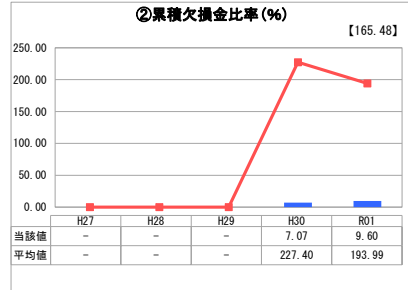
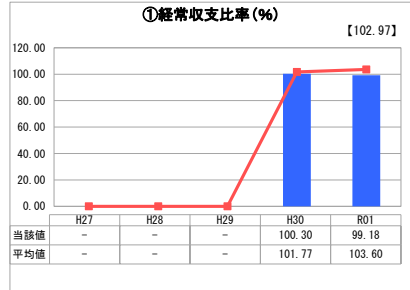
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	61.07	16.35	100.00	3,300

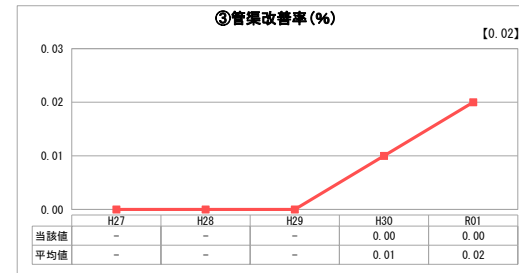
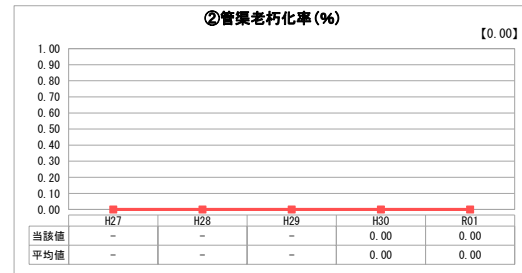
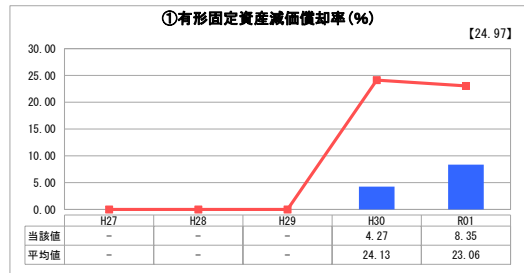
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,859	419.68	30.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,097	1.10	1,906.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業の概況
 ①経常収支比率
 おおむね100%で推移している。なお、総収益のうち他会計補助金が31.4%占めている。
 ③流動比率
 100%に満たないが、前年度並みで推移している。
 ⑤経費回収率
 100%を大きく下回り、類似他団体よりも大きく差がある。人口減少による使用料収入の減少もあるため、今後は処理区の統合等で経営の健全化を図っていく。
 ⑥汚水処理原価
 類似団体より著しく高額になっている。今後の処理区の統合等で経営の健全化を図っていく。
 ⑦施設利用率
 建設当時の見込みより処理能力が過剰となっているが隣接処理区との統合により、利用率を向上させる。
 ⑧水洗化率
 類似団体とほぼ同等であるが、今後も地区内の水洗化に努める。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率
 類似団体と比較して低くなっているが、上昇傾向にあるため、今後の更新を計画する必要がある。
 ③管渠改善率
 整備年が遅く、更新することがないため実績がない。

全体総括

当町の下水道4事業のうち、農業集落排水は過疎地域が多く、また地形も起伏が多いため、経費回収が厳しい状況である。隣接処理区の統合を進め、維持管理に係るコスト低減に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

経営比較分析表（令和元年度決算）

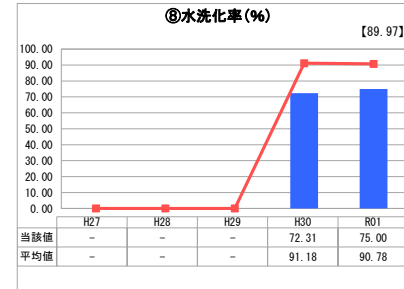
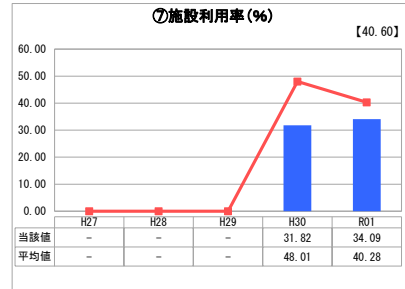
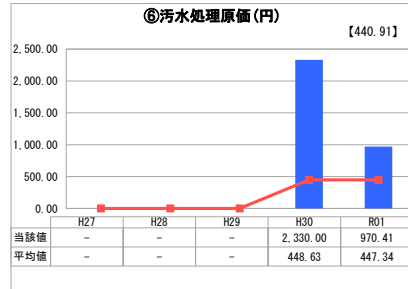
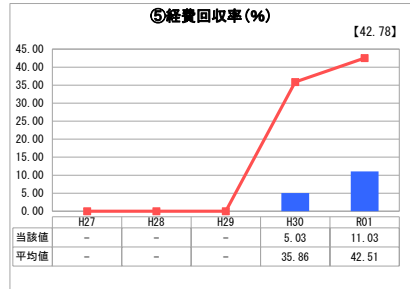
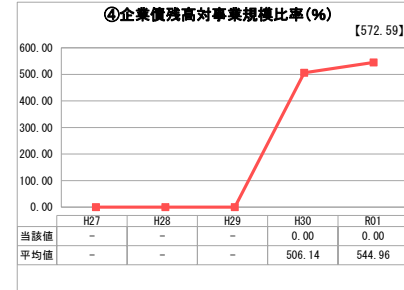
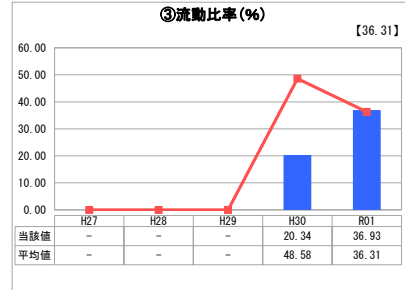
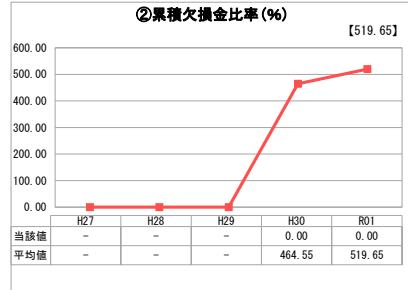
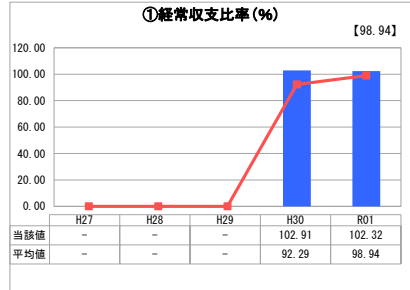
岡山県 鏡野町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	林業集落排水	G2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.91	0.47	100.00	3,300

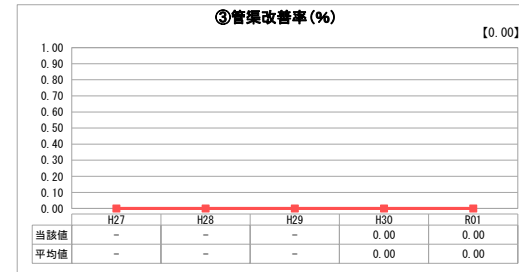
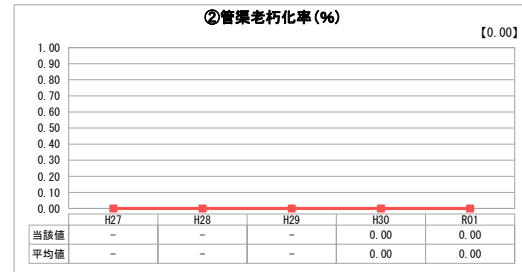
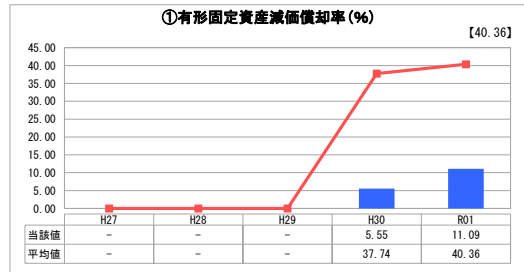
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,859	419.68	30.64
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
60	0.11	545.45

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

林業集落排水事業の概況
 ① 経常収支比率
 おおむね100%で推移している。なお、総収益のうち他会計からの補助金が39.7%占めている。
 ② 流動比率
 100%に大きく満たないが、改善する方向に推移している。
 ③ 経費回収率
 100%を大きく下回り、類似他団体よりも大きく差がある。人口減少による使用料収入の減少もあるため、今後は処理方式の検討も含めて対応していく必要がある。
 ④ 汚水処理原価
 類似団体より高額であるが昨年度よりは改善している。著しく事業規模が小さいため単年度ごとの修繕の有無で大きく変動する。
 ⑤ 施設利用率
 全国平均は下回っているがわずかに好転している。
 ⑥ 水洗化率
 類似団体を若干下回っているため、今後は地区内の水洗化に努める。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
 類似団体と比較して低くなっているが、上昇傾向にあるため、今後の更新を計画する必要がある。
 ② 管渠改善率
 整備年が遅く、更新することがないため実績がない。

全体総括

当町の下水道4事業のうち、林業集落排水は過疎地域であり、また地形も起伏が多いため、経費回収が厳しい状況である。処理方法も含めて検討していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。